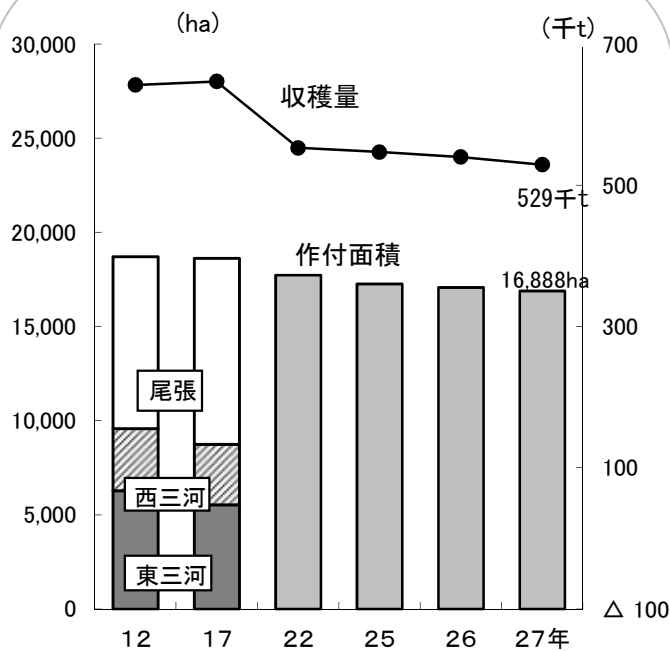


野菜

《野菜作付面積と収穫量の推移》



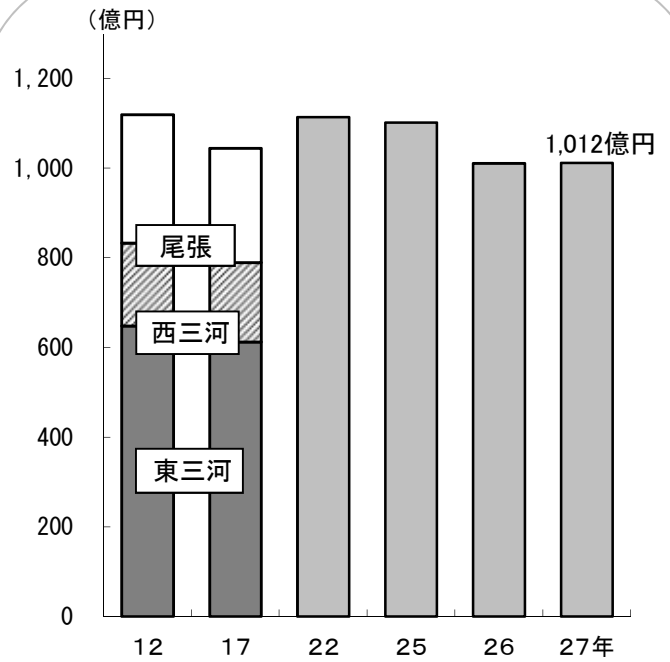
(出典：青果物生産出荷統計調査)

(注) かんしょ、ばれいしょを除く。

作付面積・収穫量は微減傾向にある。平成27年については、作付、収穫量ともにほぼ横ばいとなった。

なお、平成19年以降は一部品目を除き市町村別統計が廃止されたため、県全体とした。

《野菜産出額の推移》



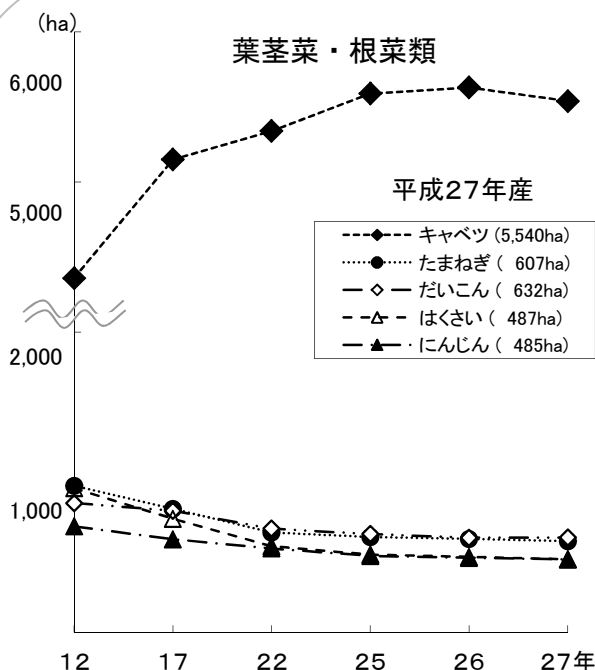
(出典：青果物生産出荷統計調査)

(注) かんしょ、ばれいしょを除く。

平成26年は、8～9月にかけては曇天による日射量不足が続いたことで市場への出荷が減ったため、秋野菜の価格は低めで推移した。しかし、9月以降は例年に比べて気温の高い日が続き、価格が高騰したため、野菜全体では、前年よりも1億円増加した。

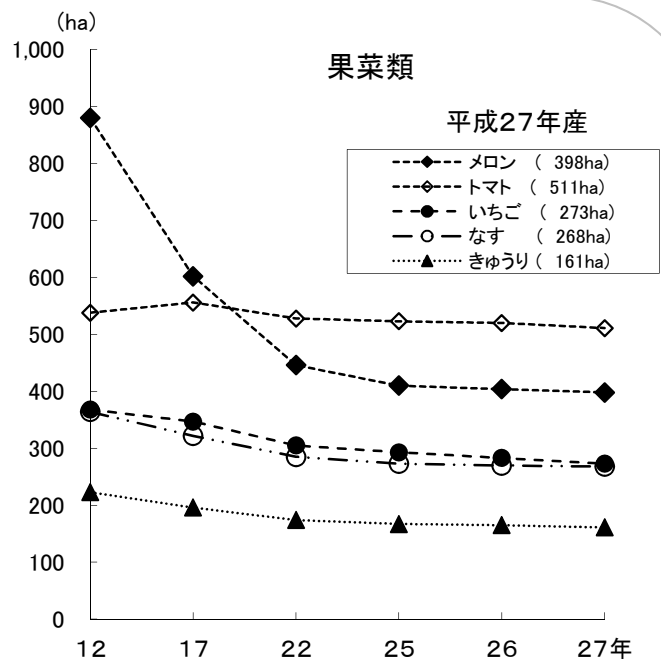
なお、平成19年以降は市町村別統計が廃止されたため、県全体とした。

《野菜主要種類別作付面積の推移》



(出典：青果物生産出荷統計)

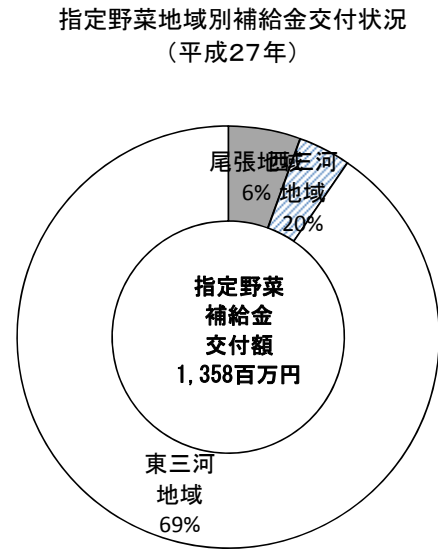
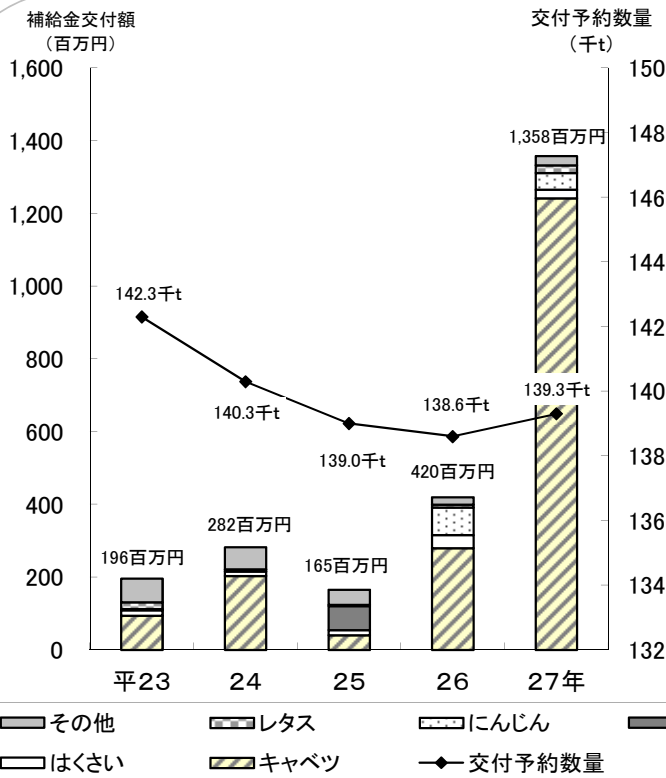
キャベツは26年度までは増加傾向にあったが、27年度は減少に転じた。たまねぎやだいこん、はくさい、にんじんの作付面積は、都市化の進展や生産者の高齢化等から減少傾向にある。



(出典：青果物生産出荷統計)

トマト、いちご、なす、きゅうりは微減傾向にある。メロンについては、昭和55年以降、作付面積の減少が続いている。

《指定野菜価格安定対策事業における交付予約数量、補給金交付額の推移等》



《特定野菜等供給産地育成価格差補給事業における主要種別別交付予約数量、補給金交付額の推移等》

